

需要に応じて多様な品種を栽培、土づくりによって高単収を実現

# 株式会社 まきの農園

山形県西村山郡河北町

設立年月  
基幹作物  
特徴

令和3年4月  
水稲10ha、大豆9ha(タチユタカ、紅豆、秘伝など7品種)(R4)  
水稲・大豆を柱とする一戸一法人。土づくりを重視した栽培により高単収を実現。実需が求める品種・品質にこだわり、7品種を作付けしている。



## 大豆生産状況

面積は増加傾向、単収は県平均を大きく上回る



## 栽培上の特色

- 土づくりを重視し、春先に発酵鶏糞のみを施用する有機物資材中心の施肥法によって、転換田での連作において多収を実現。根粒菌の活性を高めるため化成肥料はほぼ使用しない。
- 大豆の開花期に葉色を確認して亜リン酸液肥を散布している。
- 収穫時の汚損粒の発生を防ぐため、成熟期から7日以上経過後に茎・葉水分が20%以下になったことを確認するとともに、残草や青立ち株の手取りを徹底している。

## 経営上の特色

- 離農者からの農地の引き受け等により、大豆の作付面積は増加傾向。
- 一戸一法人で、家族ぐるみで大豆の栽培から加工品販売まで手掛ける。
- 多品種栽培によってリスクを分散し、収量・品質の安定化を図っている。

## 販売・消費拡大への取組

- 問屋の要望や消費者の声に注目して大豆を生産。キタムスメ、くらかけ豆、紅豆、くるみ豆など珍しい品種も栽培。様々なニーズに応えるため、毎年作付体系を見直して品質を重視した栽培を試みている。実需者から高い評価を受けている。
- 大豆問屋を地域の生産者に紹介し、地域の契約栽培の拡大に貢献。
- 農福連携の取組も兼ねて山形市内の社会福祉施設に生産物を提供。納豆に加工・販売される。

